

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名		A 一般事務事業		A 一般事務事業	
みはら歴史博物館管理運営事業		シート番号		08-66	
担当部署名		文化観光 局		博物館 部	
みはら歴史博物館		課		評価責任者(課長名)	
				赤澤	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 17 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	文化財保護法、堺市立みはら歴史博物館条例			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成15年3月、美原町立の施設として開館。平成17年2月の堺市との合併以後、市立の施設として管理運営を行うとともに、展示や貸館を中心とした事業展開を行っている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (みはら歴史博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民及び来館者			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市民や来館者に美原区を中心とした地域の歴史文化を紹介することで、郷土愛の醸成と「堺」の都市魅力の発信に寄与する。また、市民に文化活動の場を提供するとともに、身近で文化芸術に触れる環境づくりに努め、市民文化の振興に寄与する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市民や来館者を対象として常設展示、講演、体験学習会等を通じ、主に美原区を中心とした郷土の歴史文化の啓発や発信を行う。また、ホール等の貸館事業をはじめ、ホール等を活用した自主事業の展開のほか、施設の維持管理を行う。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 施設の維持管理運営等の事務を一部委託して実施している。				

Ⅲ. 投入量

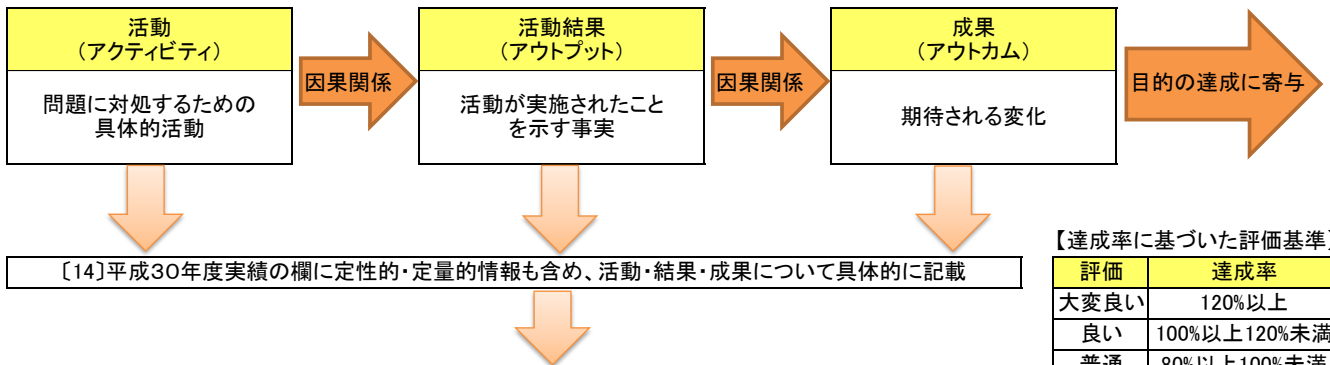
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	16,649	18,975	19,275	19,807	
	主な事業費内訳	施設維持管理等委託料	千円	9,799	10,934	9,176	9,300
		光熱水費	千円	4,851	5,265	5,102	4,737
		整備工事費	千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	1,399	1,284	1,586	1,687
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12	人件費 (b)	千円	22,050	22,050	21,850	21,900
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	38,699	41,025	41,125	41,707

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	みはら歴史博物館管理運営事業	シート番号	08-66
-------	----------------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	来館者数は年々増加しているが、これは平成28年度からギャラリー部分でのギャラリー展事業を実施したことが原因の一つである。来館者も含め美原区内外の住民に認知される事業となったことが、この実績に結びついていると考える。						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		来館者数	人	目標値	18,000	37,000	37,000	37,000
				実績値	35,606	35,876	39,463	
				達成率	198%	97%	107%	
				評価	大変良い	普通	良い	
	算出方法・設定根拠など		平成28年度以降、実績値が35,000人を上回っているため。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				目標値				
				実績値				
達成率								
評価								
算出方法・設定根拠など								

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	平成28年度以降、ギャラリー部分を活用した、ギャラリー展(無料)を定期的実施し、来館者数の増大に努めたため。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。